日経MJ

指に装着するマウス

空中で操作する、リング型マウス「Snowl」（スノール、1万9600円）が、ヤベツジャパン（大阪市、https://jabez.jp/）から一般発売された。

従来のマウスの可動域は2次元だったのに対し、新製品は3次元の可動域を与えたのが特徴。同リングを人さし指などにはめて、空中で指を振るだけで通常同様のマウス操作が可能になる。腕を常に卓上に置かなくてもよいので、書き物をしながら、あるいは楽器を演奏しながらなど、"ながら作業"がしやすくなるのが売り。同リングを専用の充電クレードル内に設置すれば、ジョイスティックマウスとしても使用できる。

いち早 Check

ランタンであったか料理

ランタンに載せるだけでホカホカ料理ができる——。キャンプギアブランド「Definitely（ディフィニトリー）」からオイルランタン用ウォーマーアダプター「WAMP（ワンプ）」（8800円）が発売された。

ランタンの排熱温度は200度前半から300度前半。コーヒーや缶詰を温めるだけでなく、チーズフォンデュや焦がし料理などの保温調理にちょうどいい。ジュラルミン製のアダプターは135グラムと軽量で、様々なオイルランタンに装着可能だ。精密部品加工の来光工業（愛知県春日井市、0568・34・5260）が手掛ける。

トレンド

近場でもハワイ気分

コロナ2年目 失われた「夏」取り戻す

「リゾート気分を堪能できる」と人気を集めるリビエラ逗子マリーナ（神奈川県逗子市）

来年の夏休みこそはハワイに——。そう誓ったあの日から既に1年がたち、今年の夏休みも妄想旅行で終わってしまったと嘆く人も多いはず。緊急事態宣言が解除されたとは言え、まだまだ海外渡航は遠い夢。しかし、悲しむのはまだ早い。失われた「夏」を取り戻すべく、気分だけでも海外リゾートを堪能できるスポットやサービスに人気が集まっている。

「街並みや景色が、ワイキキに似ていて気分が上がる」

家族と休日のブランチを楽しむのは都内在住の芳村真澄さん。出かけたのは、昨年9月に横浜・みなとみらいにオープンした、ハワイの高級リゾートのザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜（横浜市）だ。

「ザ・カハラ・ハワイアンブッフェ」では、ウクレレの生演奏や大画面に映し出された現地映像を眺めながらロコモコやマラサダなど現地メニューを堪能できる。パーテーションやマスク着用はもちろん、食材の取り分けに使うビニール手袋を非接触で着用できる機械も導入。感染症対策にも力を入れた。

ウクレレの生演奏で南国気分を盛り上げる（横浜市のザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜）

大人1人8250円～（税込み、サービス料別）と、家族で楽しめばそれなりの出費となる。それでも海外旅行に行ったと思えば手ごろと、週末のランチタイムはほぼ予約で埋まる。

ホテルはコロナ下の開業となったが、「ハワイロスの需要をうまく取り込み、家族連れから近隣の年配ご夫婦まで幅広い客層を取り込めた」（バンケットマネージャーの長谷川祐司さん）。

当初は9月末で終了する予定だったが、好評ゆえ通年開催が決定。常夏のハワイ気分をいつでも楽しめる。

「日本に見えない」「ロケーション最高すぎ」

都心から1時間の非日常体験

ヤシの木越しに広がる海岸を見渡せる

海外リゾート気分を堪能できると幅広い層に人気を集めているのがリビエラ逗子マリーナ（神奈川県逗子市）だ。

青い空に青い海。常夏の象徴ヤシの木などリゾート気分を盛り上げる。特に注目を浴びるのが昨春オープンしたMALIBU HOTELだ。水辺を囲むようにデザインされたテラス席では海風と景色を味わいながら食事を楽しめ、週末はほぼ満席という。

ボリュームのあるザ・カハラのバーベキュースペアリブ

友人と訪れた30代の女性は「インテリアもかわいいし、景色もきれいだし、どこを撮っても絵になる」と大満足の様子。

ファミリーでホテルに滞在した女性（38）も「もう少し年配向けかなと思っていたが、すごくおしゃれで洗練され、びっくりした」と話す。都心から約1時間の非日常経験が支持されている。

気分だけでも海外に——。そんな思いに応じようと企業も工夫を凝らす。

ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町（東京・千代田）では海外旅行気分を味わえるバーチャル旅行プランに力を入れる。

宿泊プランの名称は「ジャーニートゥハワイ」。ピンクパレスの愛称でハワイでも人気のホテル「ロイヤルハワイアンリゾート」とコラボし、客室で現地の観光スポットやアクティビティの映像を見ながら現地シェフ監修の食事を楽しめる。

一泊2日プランの価格は1人4万600円から（税、サ込み）。若いファミリーや女性グループに人気だという。

ほかにもミラノの現地ホテルとコラボした同様のプランも開催し、こちらは年配の夫婦などに人気だという。「旅の拠点としてだけではなく、ホテルでの滞在を目的にしてもらえるようなプランを拡充したい」（マーケティング広報担当の中尾根由梨さん）。

もっと身近にハワイ気分を楽しむ方法もある。

「開店前から並んでやっと買えた」

横浜市に住む女性（30代）は満面の笑みを浮かべた。自宅近くのコストコで手にしたのはパイナップル型の「ホノルル・クッキー」。客番のハワイ土産で、百貨店のハワイフェアなどでは行列ができる人気商品だ。子どもと一緒にすぐに食べきってしまったという。

またハワイに店舗を持つ「ABCストア」のオンラインサイトも活用するという。実際にハワイアンコスメやマカダミアナッツなどを購入した。

「サイトを見るだけでお土産選びをしている気分になれる」と語る。

おうち時間も2年目となり、ハワイロスは募るばかり。それでもリゾートに求める非日常は案外、街中の至るところに潜んでいる。妄想の翼を広げ、仮想旅行を楽しもう。

（松原礼奈）